

ギンナン早期収穫殻果の剥皮調製のための軟化促進技術

山下俊二・町田啓二・岡林秀典

Sarcocarp Softening Methods for Peeling Early Harvested
Ginkgo (*Ginkgo biloba*) Nuts

Syunji YAMASHITA, Keiji MACHIDA and Hidenori OKABAYASHI

要 約

ギンナンの早期収穫・出荷を図るために，早期収穫殻果の剥皮調製作業の効率化につながる外種皮の軟化促進方法について検討し，次の結果を得た．

- 1．殻果は，9月10日頃より黄化を開始し，9月下旬より殻果重の減少と共に黄化が急速に進んだ．
- 2．水浸漬による殻果の軟化促進効果は，黄化開始直後の未熟殻果に対しては低かったが，黄化が急速に進む10月初旬の殻果に対しては高く，この時期が早期収穫の目安と考えられた．
- 3．外種皮への付傷と殻果の水浸漬は同程度の軟化促進効果を示し，両処理を組み合わせると，さらにその効果が高まった．
- 4．殻果を25～30℃の温水に浸漬すると，18℃程度の水に浸漬するよりも高い軟化効果が認められた．特に30℃の温水でその効果が高かった．
- 5．外種皮への付傷と温水浸漬を組み合わせると，30℃の温水では中種皮の変色がみられたが，25℃では変色もなく，著しく高い軟化効果が認められた．また，水温が上昇する温室内で付傷殻果を水浸漬することは，簡易な軟化促進法と考えられた．

キーワード：ギンナン，剥皮調製，軟化促進，付傷処理，温水処理